

第7回 下小岩地域 小学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】

令和3年7月15日（木） 18時30分～19時30分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【主な内容】

校名案について

- ・公募により集まった校名案209件・113案の中から、事前に5案以内で選定いただいた投票を集計したところ26案となった。この26案の中から絞り込みをして、教育委員会に提出する最終候補案を選定する。

【意見交換内容】

- ・複数票の上位となった「下小岩」と「下小岩辰巳（下小岩つつみ）」は決定とし、他に複数票ある9案の中から選んではどうか。
- ・「下小岩」に多く票が入っていると感じた。例えば、第一、第二、第三、第四、第五とあった場合、それがひとつに統一されるのであれば、原点に戻る「下小岩」が良いと思う。
- ・名前を決めるのは大変だと思うが、PTAの方たちが、「こういう方が良いのではないかと選んでもらった方が良いと思う。
- ・候補名をいろいろ見て、大人では考えつかないような名前もあると感じた。
クスノキは、下小岩のシンボルツリーなので、「下小岩」に「くすのき」をつけても良いのではと思った。また、通信簿の名前が「くすのき」になっているので、「下小岩くすのき」が良いのではと思った。
- ・選定理由の中に「分校」、「本家」、「分家」という言葉があり、そういう意識がある中で「原点に戻るから下小岩が良い」という発想は違和感がある。他の理由で「下小岩」という名前が生まれるのなら良いと思う。私は、「清心」、「双葉」を選んだ。
- ・統合した後の子ども達のことを考えると新校として「下小岩」の後に何かを付けた方が良いのかなとも思う。
- ・統合が決まった時点で周辺の保護者と話をしたところ、「下小岩小学校になるのでは」と言っていた。公募したことに驚いていた人もいた。そういった意味では、「下小岩小学校」としても良いのかなと思うが、下小岩第二小の子ども達や皆さんの気持ちを考えると、決めかねる。

- ・最終的には、教育委員会でさまざまな角度から検討いただきたい。人気投票ではないので、江戸川区全体を踏まえて決めることに異存はない。

校名案には、子ども達や地域のいろいろな声や思いが集約されているので、その中で、「くすのき」、「未来」、「桜」や「希望」などの言葉は拾い上げて、校歌であったり教育目標であったり、いろいろな形で広く学校教育につながるようにしてほしい。
- ・私は、「下小岩」と「下小岩辰巳」と「下小岩（もとこいわ）」を選んだ。

「下小岩」は従来どおりの名前が良いのではと思った。「下小岩辰巳」は、かつて木造の辰巳橋があった歴史を参考にした。
- ・下小岩小と下小岩第二小が統合するなら、「下小岩小」と考えていた。子どもにも聞いてみたところ、「下小岩になるのではないか。」と言っていた。変えることで、違う学校に感じてしまう。校歌や校章についても「下小岩第二小はなくなってしまうが、下小岩小が残るのならそれでよいのでは」と言っていた。私も「下小岩」が良いのではないかと思った。
- ・「下小岩」を選んだ理由のところに、「原点回帰」、「元に戻る」、「本家」、「分家」や「地元根付いた学校名」や「母校がなくなるのは寂しい」という意見を見て、馴染まない意見かなと感じている。

それぞれ90年と65年とどちらの学校にも歴史があるので、どちらか一方ではなく、両校閉校とし、閉校したことを地域で共有したい。「新しい気持ちで下小岩」という意見が多数を占めているのであれば賛成だが、そうではない「本家や分家、母校がなくなるのは寂しい」という考え方であれば「下小岩」は反対である。

周年はどうなるのか。下小岩小として残り、下小岩第二小が幕を閉じるということなのか。又は、下小岩小と下小岩第二小が両校幕を閉じて、新しい下小岩小として1年目となるのか。

⇒閉校について、決まったやり方はない。足立区の「千寿小学校」と「千寿第二小学校」が統合した事例では、校名は、「千寿小学校」となったが、両校閉校になった。

周年の数え方は、通算する方法もあるが、ゼロから数えるという方法もある。(事務局)
- ・下小岩小でも周年が1年目からになるなら、未来志向で良いと思う。今、「下小岩」という意見を挙げている人たちは、校歌、校章、場所が変わっても、下小岩小と感ずることができるのか。原点回帰で戻るよりも、二つを合わせて新しい学校というイメージで考えていたので、皆さんもそのように考えてほしいと思った。
- ・「下小岩」になった場合、下小岩小の子ども達や関係者からすると、校名が変わらなかったことになる。一方で、それ以外の校名になると、どの校名になったとしても、校名が変わったことになる。

下小岩第二小の子ども達や関係者からすると、どんな名前になっても変わったということになってしまう。双方同じような思いということを見ると、個人的には「下小

岩」以外の方が良いと思っている。

もう一点は、校歌・校章の話で、仮に「下小岩」と決まったとしても、「下小岩」という校名が残っているのだからと、そのまま議論されずに進むのはないようにしてほしい。仮に「下小岩」となっても新しい「下小岩」と思っている。であるならば、校歌・校章も新しいものに変えるべきと考えている。

- ・「下小岩」以外にも、魅力的な名前があると思った。「下小岩沖」なんて良いと思った。沖天祖神社でお祭りがあるが、そこでは下小岩小の子も下小岩第二小の子も一緒になって毎年やっている。「新下小岩」というのも良いなと思った。
ただ、「下小岩」の案の理由の一部は少し気になるところもあった。名前は残っても中身は生まれ変わると言われても、こういう考えが入った上での「下小岩」という名前だと少し遺憾になると思った。
- ・折衷案として何かをつけるのが新しく生まれ変わるという感じになるのではと思う。
下小岩小に入って一番目立つのがクスノキだと思う。新しい校舎が建つ場所に移植してほしいと思っている。大事な木なので、「下小岩くすのき」は良いと思うし、「下小岩辰巳（下小岩つつみ）」もそばにある橋の名前を付けるのもわかりやすく良いと思う。
- ・下小岩第二の名称を決めるときは、「興宮小学校」という名前が候補にあがったが、児童からの意見を取り入れ、「下小岩第二小学校」になった。
- ・最終的には教育委員会で決まるので、今はこの中から教育委員会に提示するものを選ばないとならない。皆さんいろいろ思いはあると思うが、この中から選んで進めるべきだと思う。
- ・校名を教育委員会で検討する際には、どういう思いがあってこういう校名案が出たのか、合同会議ではどのような意見があったのかななどを補足させていただく。
最終候補案の絞り込み方は、各校名案の票数を参考にする方法や、具体的に校名案を例示していただいた方もいるので、例えばこの校名案を残してほしいという意見で決めるのも良いと思う。最終候補案は、数案あるとありがたい。（事務局）
- ・再投票を行い、1人3案または5案を選ぶという形でどうか。
⇒1人3案で再投票することで良い。（全員）
- ・委員の再投票をふまえて、どのように決めるか。（事務局）
⇒候補を増やしても良いのなら、複数票の上位5案にしてはどうか。
⇒良い。（全員）

- それでは、教育委員会に提示する最終候補案は、「下小岩辰巳（下小岩たつみ）」、「下小岩」、「下小岩くすのき」、「下小岩中央」、「新下小岩」の 5 案で決定して良いか。
（事務局）
⇒良い。（全員）
- 本日の合同会議で最終候補案として 5 案選定いただいたことを受け、今後、教育委員会で最終案の選定を行う。（事務局）

以上